



薬学専門プログラム（博士課程）

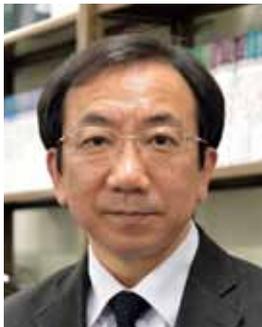
紙谷 浩之

医系科学研究科 医歯薬学専攻 薬学専門プログラム長
医系科学研究科 核酸分析化学 教授

「薬学専門プログラム」では、高度な専門性を有する臨床薬剤師及び研究能力を有する薬剤師（Pharmacist-Scientist）の養成を目的の一つとしています。このような人材を養成するために、医療系薬学領域の教育・研究に携わる教員が中心となって、医療現場で遭遇する問題点の解決能力や高度専門医療人としての能力を育成し伸ばすように教育を行います。また、本プログラムでは、薬剤師の視点と研究能力を有し、薬学系大学教員として活躍できるための教育を行うことも目的としています。

さらに、総合健康科学専攻薬科学プログラムの博士課程前期等を修了して修士の学位を有する学生が、医療系・生物系薬学領域の研究能力を高めるために本プログラムに参加することも念頭に置いております。そのため、近い将来に医療現場で用いられる新薬の開発につながる研究を通じて、高度な薬学研究能力を有する人材を育成します。また、製薬企業・薬学系大学・行政機関等の様々な職種において、修了生がリーダーシップを発揮できる能力を育成することも目的としています。

以上のように、本プログラムでは、我が国の医療薬学および薬物療法の発展に貢献できる人材や医療を中心とした薬学領域で国際的に活躍できる人材を養成することを目指しています。



放射線医科学専門プログラム（博士課程）

松浦 伸也

医系科学研究科 医歯薬学専攻 放射線医科学専門プログラム長
原爆放射線医科学研究所 放射線ゲノム疾患研究分野 教授

安全な放射線利用を支える放射線生物学・防護の研究者及び放射線に高度な専門性を有する医師は、現状では絶対的に不足しており、その養成が以前にも増して緊急の課題となっています。しかし、このような人材を養成できる機関は、我が国のみならず世界的にも不足しています。我が国では、大学での放射線基礎医学関連講座は減少し教育・研究基盤の喪失が起きてきており、同様な事態は欧米諸国でも認められます。

そのため、国際レベルで放射線医科学の体系的な大学院教育が実施できる機関が必要です。これまで、医歯薬保健学研究科において、医歯薬学専攻の中に独立した放射線医科学専門プログラムを置き、本学の原爆放射線医科学研究所（原医研）が大学院教育に参加することで、原医研に蓄積している世界的に貴重な研究資産を大学院教育に活用し、高度な研究を通じた特徴ある放射線障害医学の大学院教育を実施してきました。

医系科学研究科においても、放射線医科学専門プログラムを継続して設置し、臨床放射線医学の教員と原医研の教員が協力することで、放射線生物学を基盤とする放射線影響学や放射線障害医学及び放射線リスク学から臨床放射線医学までの教育を体系的かつ包括的に実施します。本大学院教育は、世界唯一といえる体系的な放射線医科学の教育であり、被爆地ヒロシマにある広島大学に蓄積した放射線障害の研究資産と教育・研究組織によって可能になるものです。

放射線分野の人材養成における世界の期待に応えるため、国際的な観点からも放射線医科学専門プログラムは重要な役割を果たします。